

3 思春期と関連して生じる歯肉炎(思春期関連歯肉炎)

好発年齢・部位・臨床症状	病因・診断	治療法
好発年齢 ・思春期 臨床症状 ・歯肉の浮腫性の腫脹 ・易出血性	病因 ・背景に歯肉炎 ・女性ホルモン(エストロゲン、プロゲステロン)の増加と、それによる微細血管系への影響と考えられている ・ <i>Prevotella intermedia</i> のポケット内での増殖	・徹底的なブラークコントロール、スクレーリングなどによる炎症の原因の除去



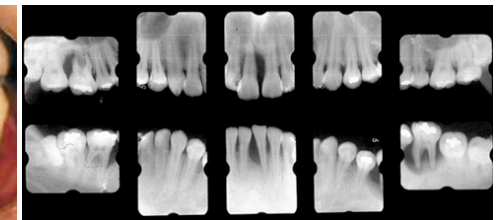
思春期関連歯肉炎



妊娠関連歯肉炎

4 妊娠と関連して生じる歯肉炎(妊娠関連歯肉炎)

好発年齢・部位、臨床症状	病因・診断	治療法
好発年齢 ・妊娠2か月目から顕著になり、8か月で最大となる 臨床症状 ・歯間乳頭や辺縁歯肉に、広範あるいは限局性に発現 ・歯肉の色調は、鮮紅色や暗赤色を呈する ・歯肉表面は滑沢で出血しやすく、浮腫やうっ血を伴う ・急性症状を伴わないので、痛みはみられないことが多い	病因 ・背景に歯肉炎 ・女性ホルモン(エストロゲン、プロゲステロン)の増加と、それによる微細血管系への影響と考えられている ・ <i>Prevotella intermedia</i> のポケット内での増殖 ・背景には口腔清掃不良による歯肉炎がある 特徴 ・妊娠時に歯肉の全部性あるいは限局性に現れる炎症(鑑別診断) ・妊娠性肉芽腫(妊娠性エプーリス、妊娠腫)	・徹底的なブラークコントロール ・スクレーリング ・重度の場合はルートプレーニング ・外科処置を要する場合は、出産から1か月後に行う ・投薬は極力避ける(とくに抗菌薬)

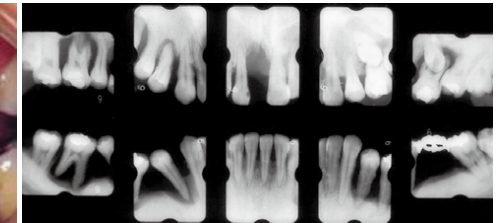


限局型侵襲性歯周炎

18歳女子, $\frac{61}{16}$ / $\frac{61}{16}$ に限局した歯槽骨吸収, ミラー像様(左右対称)の所見

5 侵襲性歯周炎(限局型, 広汎型)

好発年齢・部位、臨床症状	病因・診断	治療法
好発年齢 ・限局型: 思春期前後に発症する ・広汎型: 通常, 30歳以下で発症(それ以上の年齢で発症する場合もある) 臨床症状 ・限局型: 第一大臼歯あるいは切歯に限局し, 第一大臼歯1歯を含む2歯以上の歯にアタッチメントロス認める ・広汎型: 第一大臼歯や切歯以外の3歯以上の歯にアタッチメントロス認める ・歯周組織破壊の著しい進行が, とまどき起こる 罹患率 ・0.05~0.1%	病因 ・限局型: 感染源に対して血清抗体価の上昇を認める ・広汎型: 感染源に対して血清抗体価が上がらない 特徴(限局型, 広汎型共通) ・急速なアタッチメントロスや骨破壊 ・付着しているブラーク量(細菌の量)と疾患の進行程度が相関しない ・疾患の出現が家族性にみられる(遺伝の関与) 下記の特徴は, 一般的に認められるが, 普遍的ではない ・発症部位で <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> が検出される ・好中球の遊走能, 貪食能の異常 ・マクロファージの過剰反応による PGE ₂ や IL-1 β の産生亢進	・ブラークコントロールの徹底 ・スクレーリング, ルートプレーニング ・抗菌薬の長期投与 ・LDDS (局所薬物配送システム) ・歯肉剥離掻爬術(フラップ手術) ・リコール時に専門的な歯面清掃



広汎型侵襲性歯周炎

28歳男性, 広範部位の歯槽骨吸収